ゴールを目指してラストスパート
～湯けむりマラソン全国大会～

塩原温泉街で毎年恒例となっている湯けむりマラソン全国大会が4月29日に開催され、39回目を迎える今回は、全国19の都府県から1,700人を超えるランナーが参加しました。

今年は西風が強く、選手たちは沿道からの応援を受けながら、強い向い風の中、温泉街からゴール地点の塩原小中学校を目指し力走。

また、地元の人たちから温かいスープが振る舞われ、選手たちの疲れを癒していました。

心身を癒す 温泉へ感謝
～板室温泉三大祈願祭～

板室温泉三大祈願祭の最後を飾る「お焚き上げ」が、4月24日に板室温泉街を流れる那珂川の河川敷で執り行われました。

祈願祭は、1月から4月にかけて板室温泉三大祈願所である板室温泉神社、篭岩神社、木の俣地蔵のお札を各旅館の温泉湯口に供え、病気平癒や子宝など各祈願所のご利益を願うもの。

この日、各旅館から回収した78枚のお札を旅館関係者が火にくべ、祈願祭を締めくくりました。

元気の秘訣は登山にあり？
～日留賀岳（ひるがだけ）開山式～

5月14日、塩原にある日留賀岳で開山式が行われ、60人が道中の安全祈願後、頂を目指しました。

約1,849mの道中は、低地では鮮やかな新緑に始まり、高度が上がるとハルリンドウなどの小さな春が登山者をお出迎え。年齢を感じさせないほどのハイペースで山を登るのは、茨城県から参加した根岸さん（77歳）。「元気の秘訣は山かな。山登りは生涯現役で楽しんでいきたい」と話します。下山後の筆者の足はパンパンで、切なくなりました。

お母さん いつもありがとう
～ミニカーネーションはちうえづくり～

5月8日は母の日。那須野が原博物館では、親子体験イベント「ミニカーネーションはちうえづくり」が開催されました。子どもたちはもちろん、お父さん、お母さんたちも作品作りに夢中な様子。親子で協力して、色とりどりの綺麗なカーネーションを咲かせました。

感謝の気持ちとともに贈る手作りのお花。受け取ったお母さんたちの幸せそうな笑顔が思い浮かびます。心温まる時間になったことでしょう。

田んぼって楽しい！

5月5日に波立で「どろんこサッカーフェスティバル」が開催。子どもたちは縦横無尽に田んぼの中を駆け回り、最高の笑顔でプレーしました。

地区の子どもを対象に二区町公民館で行われた田んぼの学校。4月24日に種まき、5月21日には田植えが行われ、のべ40人ほどの子どもがお米のできる過程を学びました。

5月21日に佐野の「にへいふぁ～む」で、首都圏からの家族連れなど15人が田植えにチャレンジ！

「生まれて初めてトラクターを運転したが、まっすぐ植えなければいけないと思い、とても緊張した」とはるばる大阪から参加した植村さん。

都会の生活ではなかなか体験できない作業をみなさん楽しんでいました。

5月9日、波立小5年生が学校裏の松本さんの田んぼを借り、田植えを体験。「収穫して食べるのが楽しみ」と苗の成長が待ち遠しいようです。